

いつも新鮮
「センター」の
ホームページが
ホームページが
新しくなっていますよ～



あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



大和市民活動センター[拠点やまと] 第19号 2008年8月15日発行



●今から17年ほど前(1991年)の大和市の街の姿・4回シリーズ=第1回目

大和駅付近 絵・田中清隆

この水彩画を描かれた田中清隆さん(1897～1998)は、当時の神奈川新聞に次のように文章を寄せている(一部抜粋)。「ちょっとした裏通りにはこんな静かな開拓町のような風景があるのは

面白いではありませんか。高いビルもなく人通りも静かでゆっくり歩いても安全です。」(’93.01.07付け「大和市二十四景」より)現在はマンションが建ち、広い空を見ることができません。

夏休み子ども交流イベントがはじまりました ～第1弾サポートハウス「ワン・ピース」の子どもたちとの交流会～

7/30(水)、8/1(金)に交流しました

サポートハウス「ワン・ピース」の子どもたちをセンターに今年も招いて交流。7/30(水)は2人の高校生を含めて6人で子どもたちを迎えに行きました。まずは、かき氷を食べて暑さを忘れ、自己紹介の後はダンボールに設計図を書いてからカット。基地をつくったり、武器を作ったりして、思いっきり動き回って遊びました。新聞紙も大活躍で、ボール、バットを作って野球も始まり、センターの会議室は歓声にあふれました。ひたすら絵を描き続ける子もいて、しかも、90度違う角度から描いているのです。



ダンボールってたのしいね！
ロボット基地をつくったよ。

8/1(金)は、高校生が5人(男子3人、女子2人)、大人の男性が5人参加で14人の子どもたちを迎えての交流。かき氷とお絵かきの後は公園でおにごっこなどエネルギーに動き回る子どもたちと思いきり汗をかきました。帰るときには、「今度はクリスマスパーティーしようね」と約束しました。

公園からセンターに戻ったら、「ボランティアグループみらい」の方たちが会議室で使ったダンボールや掲示物を覆っていた布などの片付けをしてくれました。

* サポートハウス「ワン・ピース」は知的障害を持つ小中学生に学校終了後の居場所を提供しています。

＜お送りのとき同封されているもの＞ ●カッキーフェスタ参加団体募集のお知らせ

④
センターに
来て・みて・ご覧

活動を広げるサポートをします。

今回はセンターの掲示板について紹介します。

注目。ここにいつも新しいニュースあり。

大和市民活動センターには2つの掲示板があります。

☆外の掲示板は

大和市民活動センターの今の動きを伝えています。
おへそラジオ[FM やまと] の番組「やまとっこ☆みつけた」に
出演した市民活動団体と次回出演団体の活動の姿を紹介。
月刊広報紙など「あの手 この手」のお知らせ。これからのイベント
のお知らせ。現在は大きく11月開催の「カッコーフェスタ'08」
の進行をお伝えしています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第33回 7/22(火)

～コミュニケーションのとり方を勉強～
＜NPO法人大和さくら会SST勉強会＞

大和さくら会は心の病を持つ障害者の家族会です。
そのメンバー25名で平成11年10月発足。
SSTとは、ソーシャル・スキルズ・トレーニングの略称で、
社会生活技能訓練と訳されます。本人(障害者)の思い
に共感し、自分の気持ちをうまく伝えるコミュニケーション
のとり方を勉強しています。また家族が日常的に起こる
さまざまな問題を皆で一緒に考え、対処する力を積み
重ねていく勉強会です。勉強会と平行して行っている
「おしゃべり会」では、病に対して家族間の理解がバラ
バラであるなどの問題。勉強会では語りつくせないそれ
ぞれの想いを、気軽に心ゆくまで話し合っています。心の
病は誰でもかかる可能性のある病気です。不眠、不安
が最初のサインです、おかしいと思ったら一人で悩んだり
、苦しんだりせず、専門病院、クリニック、保健所に相
談してください。
*問合せ:046-262-6880 (NOP 法人さくら会)

第34回 7/29(火)

～日本語で挨拶してください～
＜青少年会館日本語教室＞

インドシナ難民の方、日本に定住している地域の外国
籍の方たちのために日本語教室を開いているグル
ープ。2つのクラスがあり、「話す」クラスでは自分の生活
や、仕事、身近な話題について話し、聞けることをめざ
している。「読む」クラスは新聞の記事を読む授業。話題に
なっている記事を選びそれを一緒に読み、漢字の読み
と内容を確認しながら記事を通して読みます。その後感
想を出し合いますが、慣習の違いなどから、いろんな意
見や考え方が出てきてボランティアに
とっても勉強になります。出演して頂いたラオス出身の
ブントアンさんは「英語・フランス語・ラオス語」3カ国語が
話せると紹介されて「そのほかに「りん語・いち語・たま
語」も」と言ったので、スタジオ内が笑いの渦となり、日本
語教室の楽しさが伝わった瞬間でした。
*問合せ:046-268-2655(かながわ難民定住援助協会)



大和市民活動センター
[ある日ある時] ～その1～

7月23日(水)晴れ

サポートハウス「ワン・ピース」の子どもたちを
迎えて”かき氷を食べよう”との企画実行にあ
たって、自治会にかき氷機を借りに行ってく
ださったボランティアのKさん。この際はと、つ
いでに壊れたと思っていた掃除機を点検して
いただいたら、何と丸い木片がパイプに詰まっ
ていたことが判明。さっそく取り出していただ
いて、本来の吸引力が復活しました。

☆部屋の掲示板は

神奈川県や大和市の今の動きを伝えています。
神奈川新聞、相模経済新聞、タウンニュース大和版、リ
ベルタ、広報やまと、大和市議会だより等から、これは
ぜひ伝えたい、知っていてもらいたいという記事を切り
抜き、小さい記事は拡大して、日々貼付。だからいつも
フレッシュニュース。貼りだし記事は長くて10日間限り。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

F M
やまと
77.7
MHz

「やまとっこ☆みつけた」

毎週
(火)

9:05
|
9:25
a. m.

第35回 8/5(火)

～山歩き、沢歩き、里山歩きのガイド～
＜丹沢自然学校＞

丹沢においてエコツアーを展開することを目的とした
ガイド育成講座の終了と同時に「丹沢自然学校」を設
立。丹沢には樹齢2000年を超えると言われている箒
杉(ほうきすぎ・国指定天然記念物)が残っています。
ツキノワグマやニホンカモシカなどの多くの野生動物
も生活しています。そんな大自然の中で、大人も子ど
もも「あしのうら・ゆびのさき・ほっぺ・はな・みみ・め」身
体全体で自然を満喫してもらいたい。自然の中には
驚く不思議がいっぱい。そのために山歩き(日帰
りトレッキング)沢歩き(水遊び)里山歩き(染物体験)
などのガイドツアー、丹沢の自然紹介を実施してい
ます。丹沢の自然・文化を人々に伝え、丹沢に暮らす
人々との交流を図り自然環境の保護、保全に貢献す
ることを考えながら活動しているグループです。
*問合せ:050-1509-1727 (丹沢自然学校)

第36回 8/12(火)

～安心して老後を過ごせるまちに～
＜市民のための介護保険をつくる会＞

1997年ドキュメンタリー映画自主上演に参加した方々
で「介護保険制度」の学習会が始まりました。学習会
を通して、誰もが「安心して老後を住み慣れた地域で
過ごしたい」との思いで、会が発足しました。会のメン
バーは介護関係の仕事(医師・看護師・ヘルパー・事
業者)に就いている方・介護を受けている方・介護して
いる家族の方など100名にもなります。自分や家族が
老後をいかに快適に過ごせるかの選択が出来るよう
に施設見学、福祉機器の使い方の学習なども行って
います。ひとりひとりの介護の不安、不満を聞きながら
介護・福祉の事を中心に皆で話し合い考えていき
たい。話したい事、気になること、困った事など声に出
してください。安心して老後を住み慣れた地域で暮らす
事を基本姿勢として「こんな町なら老後は安心」をめざ
しています。
*問合せ:FAX 046-276-1064(事務局)

「高校生生まれ！はじめの一步に来て・みて・ご覧」

ボランティア活動で、この夏、あなたのチカラは∞(無限大)
さあ、はじめの一步をふみだそう。

はじめの一步をふみだすガイド役として、高校生を受け入れてくださる団体が
9 団体参加してのセミナーでした。高校生の参加はひとりでしたが、それぞれの
活動を聴いて、高校生には進路選択のよいアドバイスになったようです。

以下は参加された高校生と団体の方の感想です。

私は、先日行なわれた高校生向けのセミナーに参加しました。
セミナーには、様々なボランティア団体の方が来てくれました。通
院の手伝いやゴミ拾いなど、どの活動もなかなか簡単に続けてい
けるようなことではないのに、長い間やりこなしているみなさんを、
すごいなあと思いました。中でも、話を聞いていて感動したことは、
「笑顔でゴミを拾えば、ゴミを捨てる人はいなくなるんだ」と、
おっしゃっていたことです。誰でも嫌がるような仕事なのに、笑顔
で取組めるなんてすごいなと、思いました。もっとすごいところが、
「自分はボランティア頑張ってます！」と、言い切らないところで
す。みなさん大変な活動をしているのに、当たり前のように取組
んでいるところです。びっくりしました。こんな素晴らしい人たちに
出会えるなんて、セミナーに参加してほんとうによかったと思いま
す。「大きな取り組みをしなくても、目の前に落ちているゴミを、近
くのゴミ箱まで持っていただけでいいんだよ」と言われたことがとて
も心に残っています。すぐみなさんのような活動家にはなれない
けど、まずは私ひとりでもすぐに出来ることから始めようと思いま
した。ありがとうございました。(ひばりが丘高校3年 飯塚 岬)



ボランティアが運営するリサイクルショップ

今どきの高校生って何を考えているの？という興味と私
たちの活動を知ってもらいたいとの思いで参加しました。
やまとボランティアセンターの榎本麻美子さんからボラ
ンティア活動の原則やマナーのお話がありました。私たち
も大勢のボランティア参加でリサイクルショップを運営して
いますが、基本を振り返ることが大事だと実感しました。ま
た、色々なボランティアを実践している方々の活動を知る
機会でもありました。実際に活動を通して培われた言葉の
重みは感慨深く、多くの元気をいただきました。また、ボラ
ンティアしたい側の高校生は保育士の資格を取りたいとい
う明確な動機に、頼もしさとするがすがしさを感じました。
高校生の参加が少ないとの意見もありましたが、様々な
ボランティアグループの活動や担う人々の顔や考え方も分
かり、有意義な時間でした。

(WE21ジャパン大和 大上 文)

高校生生まれ！第 2 弾

「あなたの“想い”をカタチにします」

8 月 18 日(月)10:00~12:00 市民活動センター会議室
あれしたい これしたい あなたが考えた企画を実施します。



大和市民活動センター

【ある日ある時】～その2～

7 月 26 日(土)晴れ(猛暑日)
共育マネージメントセミナーで、
「肩肘はらずに笑顔で活動する
と、ボランティアを長く続けられ
る」と話してくださった O さん。
「口下手だから」と人前で多くを
語らなかつた O さんが、ボラン
ティアの実践を話された。

☆☆

おいしく食べて国際交流 ～その 10～

ベトナム料理「サイゴン・フレイヴァー」

★TEL:046-276-0043 ★11:00~15:00 17:00~23:00

★ 水曜日定休

シネマサークルのみなさんと
真夏の夜の宴

灼熱の太陽が一日の仕事を終えるかの
ように西空に沈むと、涼風が体の火照りを
癒してくれる。そんな夏のある日、「エスニ
ック料理を食べて国際交流しませんか？」
との呼び掛けで、熟年の男女6人が南林間
駅前の「サイゴン・フレイヴァー」に集うこと
となった。

お店の名前が示すようにベトナム料理専
門店である。駅西口から一分ほどのビルの
二階にその店はあった。店内は広々として
清潔感に溢れていた。東南アジア特有の
猥雑さや匂いもなかった。ただ、入り口の
看板やメニュー表にはここがエスニック料
理店を示す独特の雰囲気漂っていた。
イケメンの店長、(と言ってもフロアー係は
彼ひとりだけ)が我々の注文に丁寧だが少
し訛のある日本語で対応してくれた。まず、
生ビールで乾杯と願ったが生憎、機械の
機嫌が悪く時間が掛かるとのこと。出鼻をく
じかれたが、結果的にはこれが良かった。
代わりに出されたビール「サイゴン」の旨か
ったこと。感激のあまり胃袋が打ち震えるの
が分かった。

その後、ベトナム料理が小皿に盛られ次々
と出てきた。タイ料理のように香辛料をフン
ダンに使った辛い料理かと思ったが意外と



ココです ↑

あっさり、さっぱり味であった。特にお勧め
は、米で作った「生春巻き」、「蟹の唐揚げ」
「ビーフンの焼きそば」である。ビールのつ
まみには持ってこいである。当然、ビール
は「もう一本」の連続である。勿論、会話も
弾み「旅行談義」「映画論」「時事問題解
説」と、とめど無く続きあつと云う間の2時間
半であった。

帰りには、料理長(と言ってもイケメン店
長の母親・・・広い店をこの二人で仕切っ
ている)が「今日の料理は如何でした」と挨拶
にみえた。我々はほろ酔い機嫌の顔ながら
鄭重に「おいしい料理有難う」と礼を述べ
た。

店内にはまだ、若い女性四人組
みのグループと東南アジア系男女
のグループが料理を摘みながら会
話に熱中していた。

因みにこの日の一人あたりの経費
は、僅か 1700 円ほどであった。料理
内容、店の雰囲気からして極めてリ
ーズナブルである。

店を出て夜風にあたりながら、ふと
思った。色々海外旅行もしたけれ
ど、まだベトナムには行ったことが無
い。これを機会に是非ベトナムに行
って本場の料理とビールを味わって
こよう！

真夏の夜、小さな街南林間の小さ
な国際交流に私は酔いしれていた
のかも知れない。(シネマサークル
荒井 修)

＜ベトナム語でひとこと＞

- | | |
|---------|-------------|
| ・こんにちは | シンチャオ |
| ・ありがとう | シンカムオーン |
| ・さようなら | タムビエット |
| ・ごめんなさい | シンロイ |
| ・お元氣ですか | アインコークウエコオン |
| ・おいしい | クワンアンゴン |

* (財)大和国際化協会発行「エスニック・ねっと」にて紹介

今年もカッコーフェスタの季節がやってきた

11月8日(土)、9日(日)開催



カッコーフェスタのシンボル
カッコちゃん

活動と交流を縮めて「カッコー」という。最初の「カッコー」から今年で3回目となる。カッコーフェスタは、大和市民活動センターのもっとも大きなイベントだ。参加団体の数だけでなく、さまざまな機関の関係者もどんどん巻き込めるという点が大変ユニークだ。カッコーフェスタには登録団体でない人たちも多くボランティアで関わっているの、いろいろな人に会えることが開催する側の醍醐味でもあるのだが、私の今回の最大の楽しみは「拠点やまと」と登録団体のみなさんでカフェをやること。一人ひとりがそれぞれに楽しんでもらえるように工夫をしていきたいと思っている。(Y.Y)

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

大和駅西側プロムナードで映画の撮影に遭遇しました。なんと大和市50周年記念映画「わが街大和」の撮影とのこと。車イスの女性がボランティア活動をしているという設定で、その車イスを高校生が押していくシーンでした。実際の映画ではどのような場面になるのか、楽しみです。

車イスに乗ってボランティア活動している女性役の方は、センターに登録している団体の方でした。以前、女優さんだったそ

✦ ✦ ✦ ✦ ✦

暑さの対策、皆さんはどうしていますか。私は職場で小さな保冷材を持ち歩き、机の引き出しに大きな保冷材を収納して仕事をしています。このことは秘密でもありませんが、みんなは知りません。でも、ウェットティッシュの代わりに、「あかちゃんのおしりふき」を机に入れてあることはちょっと言えません。(山田裕子)

小学校を卒業して54年、恩師と生徒が概毎年クラス会を開く。男25、女27名のクラス、男4、女1名が逝去、男女各2名が住所不明、43名の音信は確保。約半数が出会うと、皆、子供に帰って大人の今を語る。常連は大家族のようだ。(浅見正明)

災害が続いています。いつ起こるかわからないことに不安を感じつつも、備えが万全ではない現実。災害ボランティアネットワーク主催の「災害体験フェア2008」に参加した。今回は宿泊体験のみになったが、「養おう、一人ひとりの力。つなげよう、みんなの力。高めよう、地域の力」のスローガン実現に向けて、たくさんの方の参加が必要だと実感した。(石川美恵子)

街でみつけたよ！ その8



私はレアな資格を取得しています。夏、今の時期この資格は活躍します。その資格は何かって？はい、それは大和市認定セミの抜け殻鑑定士資格。温暖化の影響でクマゼミが北上中。大和市でその抜け殻を見つけるのは時間の問題なのです。(小杉皓男)

熱血編集後記



お昼寝はだいじだよ～

猛暑が続く中、北京でオリンピックが始まりました。アテネからもう4年経ったのか…と時の移り変わりの早さに驚く今日この頃です。(中山みゆき)

うんざりする暑さの中、セミだけが声高らかに歌っています。そんな状況で夏のイベントは進んでいます。セミの声にも負けないくらいの元気さで子ども達は公園を駆け回り、身体一杯でダンボール遊びに興じてくれました。冬も交流持てたらいいな。(櫻井貞代)

大和市民活動センター

【ある日ある時】～その3～

8月4日(月)晴れ(猛暑日)

駐車場から出られなくなってしまった車があるということで、「こちらの利用者ではないですか？」と聞きにいらしたが、該当者なし。しばらくすると、拡声器で警察官が呼びかけはじめた。所有者が現れなかったようで、汗だくで対応していた商工会議所の職員が、車を出せなかった人を車に乗せて送っていくのを目撃。帰ってきたら該当する車はいなくなっていたとのこと。何というモラルの欠如。駐車場は市民活動センターとお隣の商工会議所と共有の敷地でもあります。マナーを守って気持ちよく利用しましょう。駐車許可証をお渡しますので、申し出てください。

うで、聞くとところによると「寅さん」シリーズ映画に出演されたとか。経歴に関係なくオーディションで選ばれたようです。

[FM やまと]のアナウンサーの方もオーディションで主人公のお母さん役に選ばれて出演しているとのことです。

来年2月上映。乞うご期待！

✦ ✦ ✦ ✦ ✦

パソコンが突然壊れました。生活が止まってしまいました。こんなにパソコンにガンジガラメにされている生活に考えさせられました。何だか寂しく哀れになってそれを伝えると、大半の人がパソコンやインターネットへの対応技術を注意します。「バックアップも取ってないの？」「そんな常識だよ！」今後もパソコンと仲良く！でも使われたいくはないですね。(望月則男)

頭が溶けるほど暑いのにワン・ピースの子ども達は元気でした。そして、子どもと遊ぶ高校生は清々しかった。私はじっと見守るばかりで早くもおばあちゃんになったみたいです。夏後半のイベントで、また高校生に会えるのが楽しみです。(関根孝子)

今年も甲子園がやって来た。大和の阿波踊りもいつしか過ぎて、いよいよ8月。一方、地味ではあるが、熱い思いを持った高校生によるボランティア活動が、当地をはじめ、全国各地で活動している。これらの生徒が多いことが実感できた。(松村襄)

「あの手 この手」第19号 発行日・2008年8月15日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>
〒242-0021 大和市中央1-5-1

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail: yamato@ar.wakwak.com
URL: http://park23.wakwak.com/~youkoso/